



## 第31回九都県市合同防災訓練<埼玉会場> 生協の災害支援活動や防災の取り組みを紹介



救援物資の広域搬送訓練に  
生協車両3台が参加

9/5

「羽生水郷公園」(羽生市)を主会場に、全体で約4,000人、埼玉県生協連から6生協・2連合会39人が参加しました。県との「基本協定」にもとづく13回目の参加。防災フェアの会場では、災害と食のタペストリー等の展示、非常持ち出し品チェックリストやさいたまコープによる応急生活物資を配布。また、防災クイズや医療生協さいたまの健康チェックにも大勢の方が参加しました。



医療生協さいたまの健康チェックに150人参加



上田県知事がさいたまコープの  
応急生活物資配布訓練に飛び入り参加

## JAとの協同組合間提携 平成22年度埼玉県産米交流会「体験稲刈り」 風にも負けず、家族で 元気に楽しんだ稲刈り体験



バケツ稲の脱穀と籾殻体験

9/25

生産者・消費者の交流を目的に今回で12回目となる稲刈りに23家族80人が参加しました。会場の「体験園場」(久喜市)で、参加者は、鎌の使い方の説明を受けた後、4グループで分担して稲刈りを行いました。体験後は、県産米のおにぎりや麦と米を50%ずつ使ったパン等の試食、春から育てたバケツ稲の脱穀方法や籾殻取りの説明と栽培体験の発表がありました。

## マスコミさいたま支局長会との懇談会 県内生協の取り組みをアピール



幹事社を代表して読売新聞社  
栗田支局長のあいさつ

9/22

県内生協の取り組みや活動についてもっと知っていただきたいの思いから、毎年懇談会を開催しています。さいたま支局長会10社、埼玉県生協連・会員生協から8生協(連)あわせて33人が参加し、食の安全・安心、消費者、環境、医療・介護・福祉の問題等について和やかに懇談しました。

## 生協ネットワーク協議会第2回協議会 米粉の学習と調理実習から 食料自給率を考えました



9/14

学習会では、米と小麦の硬さの体験と米粉は「アミノ酸バランスが優れ低吸油でありダマになりにくいこと、また利用することで食料自給率も向上すること」等を学びました。その後「ライスフラワー」クッキングコンテストの応募作品をアレンジした「じゃがいももち」を調理し各生協のお薦め商品と共に試食しました。

## 第46回埼玉県消費大会第2回プレ学習会 高校中退する生徒から 貧困の連鎖について学びました



8/26

青砥恭彦氏を講師に迎え「高校中退から子どもの貧困を考える～学校・社会から排除される子どもたち～」をテーマに、高校中退する子どもたちの状況、格差と貧困による子どもへの影響、親から子どもへの貧困の連鎖、若者の貧困を防止するにはどうしたら良いのかお話されました。また、9月から開始される「彩の国 子ども若者支援ネットワーク」の概要等、今後の取り組みについて説明されました。



## 第46回埼玉県消費大会 全体会に1,100人が参加 5つの分科会も大盛況でした

「高めよう、消費者市民力!平和で安心して  
くらす社会をつくりましょう」を大会スロー  
ガンに26消費者団体による実行委員会が開  
催しました。オープニングでは「松山婦人会コ  
ーラス部」による素晴らしい合唱が披露されま  
した。来賓として上田県知事のあいさつ、記  
念講演では「いまを、いきいきと生きる～ひ  
とりからはじまる、社会との向き合い方～」と  
題し、「命や家族の大切さ、幸せや豊かさにつ  
いて、そして、賢い消費者・市民になりみんな  
平和で豊かに生きて行きましょう」と話され  
ました。午後の5つの分科会には554人が参  
加し、テーマごとに学習・交流しました。

記念講演される澤地久枝さん  
(ノンフィクション作家)

### さいたまコープ

#### さいたま市シルバー元気応援ショップに協賛し、市内 65歳以上の方への優待サービスをスタートしました

さいたま市シルバー元気応援ショップに協賛し、さいたま市内のコープ大宮中川店(見沼区)、コープ上木崎店・ミニコープ錦家店(浦和区)の3店舗で先行サービスしていたポイントサービスを、10月1日から市内12店舗(上記3店舗含む)に拡大し、実施しています。毎週月曜日と金曜日に実施。1日1,000円以上ご利用の65歳以上のお客様に、シルバー元気応援カードに1回押印、10個たまったら、500ポイントプレゼントします。

### ドックコープ

#### らしの講演会「こんな時だから楽しく賢く セカンドライフ」を開催

9月9日、すべす・ドック、金融・投資・教育コンサルタントの須原光生さんを講師に迎え「こんな時だから楽しく賢くセカンドライフ～備えあれば老いはなし!」を開催。豊かで明るい老後を迎えるためには、「家庭を株式会社」にたとえ、老いの元気が「家庭株式会社」を運営するには、現状の収入と支出を把握して貯蓄を確保し、老後の予測を立てた早めの準備が大切」と話されました。

### 生活クラブ生協

#### クリスマス・正月用品試食会 事前学習会

毎年10月から11月にかけて、各支部・地区主催で「クリスマス・正月用品試食会」が開催されます。それに先駆け、事前学習会が9月上旬に各ブロックで開催されました。学習会では、様々な料理に使える「八方だし」の作り方のほか、クリスマス・お正月用品や通常申込みが出来る消費材を使って、リーズナブルにしかもカンタンに手づくり出来るメニューが紹介されました。

### 埼玉県勤労者生協

#### 交流会 なるほど! そうなの!? 産直豚肉のお得な話を聞いて楽しく、おいしいロールカツを作ろう

10月6日、組合員20名が参加し、豚肉学習会と料理教室を開催しました。学習会には連合会から講師に高橋宏通氏を迎え、「パルシステムの目指す畜産の取り組みや飼育環境に配慮したパルシステムの産直豚のこだわり、そしておいしさの秘密」を説明いただきました。料理教室では、産直豚肉と野菜で作った「豚肉のまきまきロールカツ」は、子ども連にも大好評でした。

### 多彩で豊かな活動が広がっています

### 医療生協さいたま

#### 子宮頸がんワクチン接種の公費助成を求める 請願署名に取り組んでいます

子宮頸がんの99%が「ヒトパピローマウイルス(HPV)」が原因とされ、その子宮頸がんワクチン(以下ワクチン)を10代で接種することにより、7割以上の予防が可能とされています。希望する人がだれでも受けられるように、公費助成を求めていきます。ワクチンによってすべての子宮頸がんを防ぐことはできません。早期発見のためにも検診を定期的に受ける意義を機関紙や学習会を通じて強調しています。

### 全労済埼玉県本部

#### 防災に向けた考え方や備え方を学習しました

8月30日、ラフさいたまで、埼玉県内の労働組合の役員の方々に事業状況の報告、各種研修及び交流を目的に「2010年度全労済セミナー」を開催し69団体102名が参加しました。セミナーは、「住まいと暮らしの防災・保険点検運動」を積極的に取り組んでいることから、危機管理アドバイザーの國崎信江氏を講師に迎え、「防災に向けた考え方・備え方」についてお話いただきました。

### 子どものその保育生協

#### ありがとう・おいしいさん・おばあさん参観

9月17日、年長組の祖父母を対象にした参観が開かれ122名が参加しました。おいしいさん、おばあさんの優しい眼差しに包まれて、園児たちは和やかな一日を過ごしました。祖父母のみなさんに手を添えてもらいながら、運動会のソーラン節で使う腰ひもを三つ編みして作りました。そのあと、腰ひもをつけて覚えたばかりのソーラン節を元気に踊って見せました。

### 十文字学園生協

#### Peace Now!! Hiroshima 2010に参加

今年は、8月3日～7日まで行われたPeace Now!! Hiroshima 2010に1名参加しました。1日目が「広島に触れる日」、2～3日目が「広島から受け取って深める日」をテーマに、碑めぐり、平和記念資料館の見学、被爆の証言、平和祈念式典に参加しました。「原爆や平和について学んだことを一人でも多くの方に考えてもらえるように小さいことからこつこつ活動をしていきたい。」と報告しています。